



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月2日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
コード番号 6809 URL <https://www.toa-global.com/ja>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 方啓
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	10,979	9.3	△91	—	104	△38.7	△112	—
2024年3月期第1四半期	10,042	10.5	△114	—	169	—	△63	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,075百万円 (△10.7%) 2024年3月期第1四半期 1,204百万円 (10.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△3.75	—
2024年3月期第1四半期	△1.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	64,028	49,508	73.0
2024年3月期	64,734	49,239	72.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 46,758百万円 2024年3月期 46,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期配当金の内訳 安定配当40円

2025年3月期配当金(予想)につきましては、2024年5月2日に「2024年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当40円に業績を加味して、連結配当性向45%を目安に決定いたします。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	6.5	3,700	22.2	3,900	5.1	2,400	20.1	79.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期1Q	34,136,635株	2024年3月期	34,136,635株
2025年3月期1Q	4,080,321株	2024年3月期	4,080,281株
2025年3月期1Q	30,056,337株	2024年3月期1Q	32,165,980株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。
- ・決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、設備投資意欲の高まりや雇用・所得環境の改善など国内景気は回復傾向が見られるものの、原材料価格の高止まりや物価の上昇、不安定な国際情勢による地政学的リスクに加え、為替相場の急速な変動など、世界経済は先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」の実現に向け、2030年を見据えた経営ビジョンとして、「Dr. Sound —社会の音を良くするプロフェッショナル集団—になる」を掲げております。お客さまに選ばれる良い音体験の継続的提供を通じ、社会課題の特定、解決、改善の一連のサイクルをお客さまと共に実現してゆく頼れるパートナーとして、人々の安心・信頼・感動の価値実現を目指しております。

当第1四半期連結累計期間では、複数の地方公共団体と連携し、AIを搭載したカメラと、併設したスピーカーを活用した実証実験を実施いたしました。歩道における実証実験では、歩道を走行する自転車をAIで検知し、運転者に対して安全通行を促す自動放送を行います。また、繁華街における実証実験ではカメラの撮影範囲内における滞在人数をAIでカウントし、滞在人数が一定以上になると客引き行為の禁止を訴える音源を放送します。これらの実証実験を通じて、デジタル技術の活用方法についての検討を進め、安全安心で快適なまちづくりの推進に貢献してまいります。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,979百万円（前年同四半期比+937百万円、9.3%増）となりました。利益については、営業費用は増加しましたが、営業利益は△91百万円（前年同四半期比+22百万円）、為替差益の減少もあり、経常利益は104百万円（前年同四半期比△65百万円、38.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は△112百万円（前年同四半期比△49百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は5,630百万円（前年同四半期比+859百万円、18.0%増）、セグメント利益（営業利益）は567百万円（前年同四半期比+74百万円、15.2%増）となりました。

道路や鉄道などの交通市場や工場、教育市場向けの売上が伸長したことなどにより、セグメント全体での売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は2,937百万円（前年同四半期比+290百万円、11.0%増）、セグメント利益（営業利益）は581百万円（前年同四半期比+25百万円、4.7%増）となりました。

インドネシアではラマダン需要の取り込みにより宗教市場向けの販売が堅調に推移しました。また、ベトナムでは大型都市開発プロジェクト、タイでは鉄道や教育市場、商業施設への納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は1,377百万円（前年同四半期比△96百万円、6.5%減）、セグメント利益（営業利益）は63百万円（前年同四半期比△83百万円、56.9%減）となりました。

アフリカではスポーツ施設向けの納入が進んだものの、ドイツやオーストリアで天候不順の影響により工事遅延が発生したことなどにより、セグメント全体の売上高は減少し、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は634百万円（前年同四半期比△17百万円、2.7%減）、セグメント利益（営業利益）は31百万円（前年同四半期比△23百万円、42.8%減）となりました。

アメリカでは小売店向け、カナダでは教育市場向けの売上が減少したことなどにより、セグメント全体の売上高は減少し、セグメント利益は減少しました。

(中国・東アジア)

売上高は399百万円（前年同四半期比△98百万円、19.8%減）、セグメント利益（営業利益）は2百万円（前年同四半期比△44百万円、94.2%減）となりました。

香港では官公庁向けの納入が進んだことなどにより売上は増加しましたが、中国の不動産不況に伴う市況低迷による販売の伸び悩みなどにより、セグメント全体の売上高は減少し、セグメント利益は減少しました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は64,028百万円となり、前連結会計年度末に比べ706百万円の減少となりました。資産の部は、棚卸資産や投資有価証券の増加などありましたが、現金及び預金や売上債権の減少などにより減少しました。負債及び純資産の部は、為替換算調整勘定の増加などありましたが、配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少、未払金や仕入債務の減少などにより減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想につきましては、「2024年3月期決算短信」で公表しております当初予想から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,350	15,623
受取手形、売掛金及び契約資産	10,476	8,942
商品及び製品	8,937	9,783
仕掛品	789	876
原材料及び貯蔵品	5,126	5,220
その他	1,048	1,425
貸倒引当金	△95	△85
流動資産合計	42,633	41,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,933	5,888
その他	4,714	4,752
有形固定資産合計	10,648	10,640
無形固定資産		
投資その他の資産	1,669	1,642
投資有価証券	8,170	8,286
その他	1,614	1,672
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	9,784	9,959
固定資産合計	22,101	22,242
資産合計	64,734	64,028
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,554	3,233
短期借入金	1,836	1,788
未払法人税等	579	281
引当金	271	161
その他	3,336	3,009
流動負債合計	9,578	8,475
固定負債		
退職給付に係る負債	3,089	3,152
その他	2,827	2,891
固定負債合計	5,917	6,044
負債合計	15,495	14,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	5,048	5,048
利益剰余金	32,863	32,149
自己株式	△3,679	△3,679
株主資本合計	39,512	38,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,807	4,887
為替換算調整勘定	2,321	3,127
退職給付に係る調整累計額	△58	△55
その他の包括利益累計額合計	7,070	7,959
非支配株主持分	2,655	2,750
純資産合計	49,239	49,508
負債純資産合計	64,734	64,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	10,042	10,979
売上原価	5,973	6,587
売上総利益	4,069	4,392
販売費及び一般管理費	4,183	4,484
営業損失(△)	△114	△91
営業外収益		
受取利息	13	36
受取配当金	63	69
為替差益	201	100
持分法による投資利益	1	—
その他	34	22
営業外収益合計	313	228
営業外費用		
支払利息	22	23
持分法による投資損失	—	1
その他	5	8
営業外費用合計	28	32
経常利益	169	104
税金等調整前四半期純利益	169	104
法人税等	145	142
四半期純利益又は四半期純損失(△)	23	△38
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	74
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△63	△112

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	23	△38
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	729	80
為替換算調整勘定	449	1,030
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
退職給付に係る調整額	0	2
その他の包括利益合計	1,180	1,113
四半期包括利益	1,204	1,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	805	776
非支配株主に係る四半期包括利益	399	299

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	386百万円	400百万円
のれんの償却額	10百万円	11百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,770	2,646	1,473	652	498	10,042	—	10,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,361	31	7	6	4	1,411	△1,411	—
計	6,132	2,678	1,481	659	502	11,453	△1,411	10,042
セグメント利益	493	555	146	54	46	1,296	△1,410	△114

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,410百万円には、セグメント間取引消去△37百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,373百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,630	2,937	1,377	634	399	10,979	—	10,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,193	27	3	4	7	1,236	△1,236	—
計	6,823	2,964	1,380	639	407	12,216	△1,236	10,979
セグメント利益	567	581	63	31	2	1,246	△1,338	△91

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,338百万円には、セグメント間取引消去66百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,404百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。